

も どうし

議会だより

No.25

平成27年1月1日発行
山梨県道志村議会

日本一の水源の郷をめざす道志村



フラガールがやってきた（ふれあいサロン）

- 臨時会／定例会 P 2
- 議案等の質疑 P 3
- 一般質問（これが聞きたい） P 4～8
- 議会活動報告 P 9～11
- あの一般質問は・今（村道谷相～岩瀬線は） P 12
- 紹介／がんばる人紹介（川原畑神楽保存会・スクールガードリーダー） P 13～14

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

12月定例会

12月定例会は12月16日から19日まで開催され、一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例改正等の可決、人権擁護委員候補者の推薦を承認し、5人の議員が一般質問をして村政の考えを聞きました。

おもな審議事項 全員賛成で可決

● 一般会計補正 2155万円を追加

おもな財源

国庫支出金	933万円
地方交付税	312万円
村債（借金）	379万円
繰越金	460万円

おもな使いみち

旧駐在所跡地買い上げ	560万円
庁舎電気料金値上げ分	224万円
光ケーブル移設代	454万円
長幡第2給水区水道事業	854万円

● 特別会計補正

★国民健康保険特別会計813万円を追加

おもな財源

退職者医療療養給付費交付金	261万円
共同事業交付金	455万円

おもな使いみち

病院などに支払い	691万円
★介護保険特別会計	2779万円を減額

おもな財源

支払基金交付金	△712万円
国庫支出金	△514万円
繰入金	△1147万円
県支出金	△407万円

おもな使いみち

保険給付費	△2455万円
-------	---------

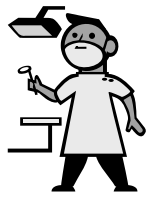
★簡易水道事業特別会計1447万円減額

● 条例改正

条例改正は3案件で、国の改正に伴う案件です。（税条例、国民健康保険、保育所）

● 視点

介護保険の保険給付費が減額になった要因の一部は在宅看護などが増えたことです。



第7回臨時議会（11月28日）

おもな協議内容 全員賛成で可決

● 職員給与条例の一部改正

職員の通勤手当、勤勉手当などが若干増額になる。

● 一般会計補正 2584万円を追加

おもな財源 村債（借金） 2720万円

おもな使いみち 学校建設の2期工事分を一部 1期工事に振替 2336万円

● 特別会計補正予算の4会計補正がありましたが、特に目立つ所がありませんので記載しません。



議案等の質疑

本定例会で行った、協議会での質疑の一部を紹介します。



Q 道志村国民健康保険条例の一部を改正する条例とはなにか

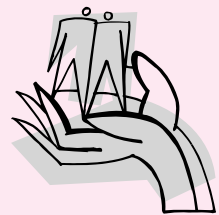
A 出産一時金の内、国の補助部分が減額となるため、条例を改正して村支給分を増額し、現在の支給額と同額になります。

現 行 390,000円(村支給) + 30,000円(国補助) = 420,000円
改正後 404,000円(村支給) + 16,000円(国補助) = 420,000円

Q 介護保険の被保険者の内訳は

A 第1号被保険者(65歳以上) 592名
第2号被保険者(40歳~64歳) 290名

となっています。



Q 村道等の除雪費はどのようになっているのか

A 平成26年2月に単価を改正しましたが、この額が適正かどうかについては、近隣の市町村等を調査して検討します。



Q 保育所の保育士が1人欠員となっているがその対応は

A 現在、アルバイトにより対応していますが、広報12月号に掲載して募集していますので、新年度からは解消できる見込みです。今後も、保育所の運営に支障が出ないよう必要な人員は確保していきます。



保育所にて

Q 富士山噴火の 対応は



ひろふみ 大田博文 議員

大田

**Q 富士山噴火に
伴う対応は**

**A 地域防災計画に
おいて、定める**

村長

平成24年に、「富士山火山防災対策協議会」が設立され、避難範囲を設定し、噴火災害における人的被害の軽減を図ろうと考えています。

この非難範囲に道志村は含まれていません。

道志村地域防災計画において、防災・減災に関する基本的な事項を定めています。

Q 小中学生の体力は

バス通学で、ヘルメット代わりに帽子をかぶる事は出来な
いか。高校生への通
学支援は。

**A ほぼ全国平均を
維持**

教育長

小学校については、
ほぼ全国平均を維持
しています。

中学校については、

瞬発力の試される種
目は優れており、持
久力の試される種目
が苦手のようです。
しかし、苦手な種目
も全国平均と同レベ
ルかそれ以上です。

バス通学は、添乗
員がいないので、自
分の身は自分で守る
ため、ヘルメット着
用をさせています。

高校生への通学支
援は一人あたり年額
12万円を助成金とし
て支給しています。

Q 役場庁舎の計画は

耐震基準を満たし
ていない役場庁舎の
今後の計画は。

**A 様々な角度から
検討**

会計管理者

平成24年11月に耐
震診断を実施し、補
強が必要と判断され
ました。

今後、本村の中核
的施設であることか
ら、補強なのか新規
建て替えなのか、
様々な角度から村
民・議会・行政が一
体となり十分な検討
をしていきます。

**Q 道志の湯への
木材の流通は**

道志の湯に安定供
給する木材の流通は
構築されているのか。
間伐等の森林施業
や路網の整備等は。

**A 安定供給の体制は、
整っている**

産業振興課長

道志の湯への薪の
供給体制ですが、現

在、500㎡の在庫
木材があり、安定供
給の体制は、整ってい
るものと思われま
す。森林整備につ
いては環境税を導入し、
整備促進を図って
いるところです。路網
の整備につきま
しても、4地区の整備を
予定しています。

**Q 指定管理事業所の
経営状況は**

**A 良好な施設管理と
運営をはかる**

産業振興課長

平成25年度実績で、
道志の湯、水源の森、
みなもと体験館、豆
腐加工施設の4施設
が赤字決算となつて
いますが、今後、良
好な施設管理と運営が
図られるよう指導、
監督していきます。



Q 「まち・ひと・しごと」 創生事業は



かずとし
出羽和平 議員

出羽

地方創生法が成立し、今後議論が深まると思うが、この事業を導入し魅力ある村づくりに取り組む考えはあるか。

**A 早期に取り組み
活力ある村づく
りを進める**

村長

地方が元気にならないと国が元気にならない。今後具体的な政策が出ると考えます。早く手をあげて取り組みたいと思います。活力ある村づくりを進めるには、何をすべきか。

村の環境を利便性のあるように変えることにより、若者も安心して定着でき、Uターン・Iターンの若者も増えると考えられます。課題はたくさんあ

ると思いますが、今やらなければ出来ないという決意で取り組み、村造りを考えていきます。

**Q 婚活イベントなど
で出会いの場を
提供すべきと考え
るが、次年度の開
催予定は**

**A 継続して実施
していく**

村長

結婚支援事業については、本村の人口増加対策としても最重要課題と認識しています。議会、結婚相談員及び行政が一体となって、来年度以降も婚活イベント並びに結婚相談事業を継続していくことが重要と考えています。

**Q 健康寿命を延ば
す取り組みは**

年2回の健康診断受診、事後指導、再受診で早期発見、各種運動教室で予防処置、このサイクルの充実が重要だと考えるが。

**A 集団健診、予防
事業及び運動教
室で健康増進**

住民健康課長

平均寿命と健康寿命の差を短縮すれば個人の生活の向上と医療費の削減につながるものと考えます。春、秋の集団健診事業では542人が受診しています。健診後は医師による事後指導を行い、再検査が必要な方には早期の対応を指導しています。また、各種運動教室等を実施し、

住民の健康増進に努めています。このサイクルをさらに充実し元気住民の増加と医療費の削減に努めます。

**Q 本年度導入した
人間ドッグ利用
者は**

住民健康課長

「元気住民づくり」どうし人間ドッグ事業は12月現在14名の方が受診されました。

「再質問あり」



集団健診



集団健診

Q 民有林整備計画の見直しの提案を



たつよし
長田達義 議員

長田

山梨県では森林環境税を財源として、24年から28年度の5年間で民有林4000haを整備する計画を作成しました。(別掲)南都留森林組合でも、25年の繰越分が終了した所です。県は、森林所有者の同意を得る作業に手間取っていることを主な理由に上げているが、計画を達成できない理由を検証し、計画の見直しを検討すべきだと思います。そこで村長にお尋ねします。町村会や県に通ずる会議で見直しの提案はできないか。

A 必要に応じて
県に要望

村長
山梨県では、環境税を活用し、県内の

森林整備を進めております。道志村においても、森林整備については、南都留森林組合が施業主体となり、施業計画を作成し、平成25年度、白井平地区の25林班で27ヘクタール実施し、平成26年度においても日陰地区の20ヘクタール以上の整備を予定しているところですが、

森林環境税を活用した森林整備にあたっては、施業主体が実際に整備できる可能な面積を算出し、山梨県に申請して実施しています。このことから、整備の進まない状況は、山梨県の問題でなく、施業主体が整備計画作成に時間と手間がかかるため、申請面積を少なく見積もっているのが原因ではないかと思われま

す。また、申請基準や手続き上の問題があるかどうか確認し、必要に応じて県に要望することも考えます。

Q 森林整備の一体的な計画は作成できないか

A 『森林整備計画』は、平成25年度に策定

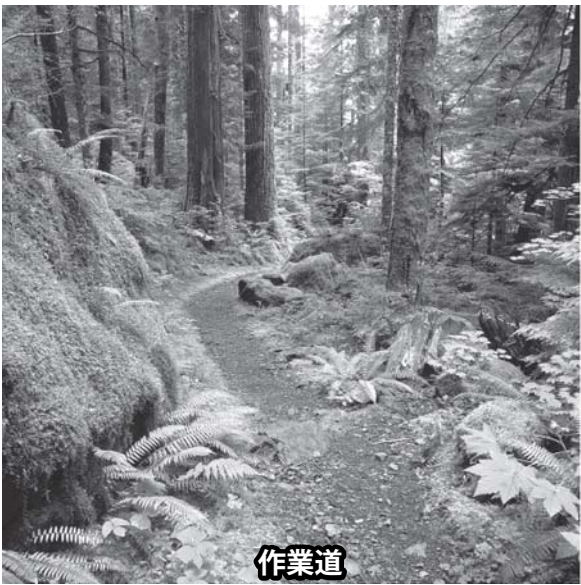
村長

森林整備の一体的な計画づくりについては、既に村が作るべき『森林整備計画』は、平成25年度にできています。

村では、施業計画の作成費用のほぼ全額を助成しているのが現状です。村の森林整備を進めるためには、能力や実績等を考えますと、南都

留森林組合に施業主体となっていたことが、一番効果的な方法と考えておりますので、今後も施業計画作成のための助成措置を継続していきます。

「再質問あり」



作業道

* 民有林間伐計画	
・ 24年度計画 704ha	実績316ha (44.9%)
・ 25年度計画1187ha	実績541ha (45.6%)
・ 26年度計画 645ha	実績 …… (50%位)

Q 新年度予算の方針は



水越

Q 平成27年度予算編成方針は

11月に公表された道志村平成25年度決算では、健全な財政状況であると判断されております。

しかし、国の財政を見ますと、赤字額が1000兆円を超え消費税の増税が先送りされるなど厳しい状況であり、依存財源に頼る本村の財政にも影響が表れてくると思われます。このような状況下、平成27年度予算では、自主財源の確保策や事務事業の効率化等による更なる経費節減が求められますが、その、編成方針は、

A 事業内容を見直し整理合理化を考える

村長

国においては、前年度予算に引き続き、民需主導の経済再生と財政健全化目標の双方の達成を目指し、無駄を排除し、厳しい優先順位付けを行い、メリハリのついた予算方針になっています。

国が掲げている「地方創生」について、新たな施策等が組まれることも想定して、今後の国の予算編成や地方税財政制度について、動向を見守る必要があります。

本村の平成27年度の村税収入見直しは、法人税率引き下げや、地方交付税及び臨時財政対策債も減額となることが見込

まれます。

このような状況のもと、予算編成の基本方針としましては、26年度から継続する小中学校の建設事業により、起債等による多額の財源の確保が必要となることから、後年度への財政負担や費用対効果など、事業内容等を再度見直し、より有利な補助制度等を活用し、総合計画に位置付けられた事業も目的が概ね達成できたもの、投資効果の少ない事業等は、廃止・縮減を図り整理合理化を考えていきます。

「再質問あり」



Q 地域おこし協力隊の支援について



山口 ちから 議員

山口

道志村では、平成25年度より、地域おこし協力隊を受け入れて、村の行事やイベントを手伝ってもらっています。そして、その事業費はすべてが総務省からの特別交付税が当てられています。

協力隊各人の希望・方向性などを伺い、村として単独支援するような体制がとれないか伺います。今いる人達が定住することによって、今後も協力隊を受け入れる事ができると思いますが、その辺についてどういう考えか。

必要と聞きまして、その予算は特別交付税の中にあります。若者に定住してもらえる条件は、村の中に安定した生活が出来る仕事を増やすにはどうするかが大事だと考えます。自分の政策の中の福祉村構想が進み、実現していけば、定住する為の選択肢のひとつになると思います。協力隊の若者がこちらに目をむけて考えれば定住できる可能性はあると考えます。

A 単独支援は考えていない
村長

26年度の予算編成の時に2000万は

必要と聞きまして、その予算は特別交付税の中にあります。

若者に定住してもらえる条件は、村の中に安定した生活が出来る仕事を増やすにはどうするかが大事だと考えます。自分の政策の中の福祉村構想が進み、実現していけば、定住する為の選択肢のひとつになると思います。協力隊の若者がこちらに目をむけて考えれば定住できる可能性はあると考えます。

村として各人に単独に支援して定住してもらうことは、今は考えていません。今後の協力隊も総務省の支援を確かめながらでないと、資金的に不可能と考えます。

Q 特別擁護老人ホーム計画の説明会を

- ① 擁護老人ホーム計画のニーズ調査は、第1号被保険者に対してだけのもので、第2号被保険者の調査は行っていない。理解をいただくために説明会を行うとの回答がありました。が施設設置により、村民の負担がどの程度になるのかは、保険料を払う側としては一番関心のある事だと思えます。
- ② 説明会をどのような予定で行うのか。
- ③ 説明会での意見をどのように村民に情報提供するのか。
- ④ 説明会での意見をどう判断するのか。

A 説明会は、平成27年1月中旬に

村長

私がお示ししている施設は「地域密着型介護老人福祉施設」です。この施設を整備するためには、第6期の介護保険事業計画に位置付けることが大前提となります。

安心して生活していただけるための施設を整備を進めるため、説明会を次のように開催したいと考えています。

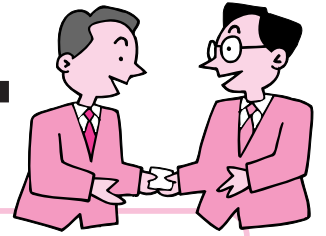
- ① 説明会は、平成27年1月中旬に村内一カ所で開催する。
- ② 住民に広報どうしで情報提供する。
- ③ 住民からいただいた意見は今後の計画づくりに反映させる。

と考えています。「再質問あり」



協力隊報告会

議会活動報告



● 第81回町村議会広報研修会

平成26年10月21日、22日

21日は「伝える広報」から「伝わる広報」へ「広報紙面デザインの基礎知識」「写真の見方、考え方」をそれぞれ3人の先生方より研修しました。22日は、かねて予定された町村の「議会だより」についてクリニックが行われました。

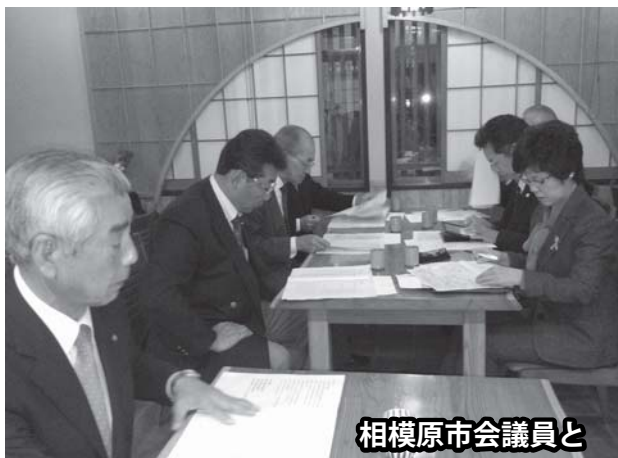
今回の研修で、一番勉強になったのは住民との「対話」と「参加」を重視する広報をつくっていくということと、1つの文章は30字以内が良いというのが特に印象にのこりました。



シェーンバツハ・サボーにて

● 近隣市議会との意見交換会

平成26年10月27日・11月5日



相模原市議員と

都留市・相模原両市議会と交流会を行いました。道志村・都留市間の新トンネル推進や、議員間交流を深めるため、10月27日、都留堀内市長と長田村長を招いて、交流会を行いました。11月5日には、国道413号青根地区の、改良拡幅事業推進要望のため、相模原市議会との交流会を行いました。道志はトンネルの進行状況を説明し、相模原市は平丸トンネルより西へ、トンネル掘削と横山橋の改良を進める、との説明がありました。

● 新任議員研修会参加

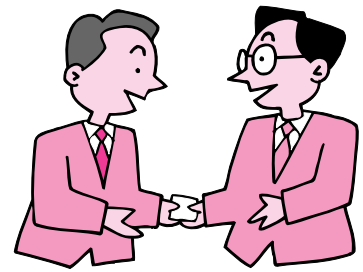
平成26年11月6日

11月6日に山梨県自治会館で、新任議員研修が行われました。内容は、元徳島県川島町長中村健氏の講演で「これからの議会改革」と題して、今後の町村議会の取り組み方や、住民と議会、行政に対して議会がどのように対応して行くのかなど、たいへん参考になる研修で、参加者全員が熱心に受講してきました。



中村健氏

活動報告



● 出会いサークル部会

ハイキング&囲炉裏 de 婚活

少子高齢化により人口が減少している状態が続いています。
有効な手段はないかと模索するなかで、婚活イベントを企画しました。
結婚相談員さんと1年前から準備を進め、NPO法人婚活 de 八ヶ岳推進委員会の皆様の協力により、11月23, 24日に開催しました。

- ・ 9時集合 受付後 ペアを入れ替えて自己紹介
- ・ 久保吊り橋から野原 吊り橋 ペアを入れ替えおしゃべりしながら散策
- ・ 囲炉裏を囲んでの昼食 鮎の塩焼き&しし鍋
- ・ 北の勢堂から道の駅まで遊歩道をペアを入れ替えてハイキング
- ・ お茶タイム&マッチング 4時30分解散

【11月23日】参加者 男性10名 女性9名 6組マッチング



楽しくハイキング



吊り橋を仲良く



結婚相談員といっしょです



マッチングタイム

**【11月24日】参加者 男性7名 女性6名
3組マッチング**



マッチング成功



太鼓の演奏で盛り上げ

特別委員会

●政策部会

神石高原町 (じんせきこうげんちょう)

広島県・神石郡

「人と自然が輝くまち」神石高原町を視察研修してきました。

町の玄関口である道の駅「さんわ182ステーション」の一角には「ローソン」と「自然食レストラン高原の風」が併設されていました。

昼食を取った「レストラン高原の風」は地元の野菜や肉などの食材を使ったバイキング形式の自然食レストランで料理の種類も多く味もグー！

ローソンはこの町初のコンビニとして、若者のニーズにマッチし限界集落対策として有効であるということで誘致されました。道の駅で特産品や朝とれ野菜などを販売し、生活必需品はローソンで販売するなどして田舎(限界集落)にも町のホットステーションをという構想からはじめて頑張っている町です。



町職員からの説明



町ではじめてのコンビニ

邑南町 (おうなんちょう)

島根県・邑智郡 (おおちぐん)

「日本一の子育て村構想と定住を促進しているまち」邑南町を視察研修してきました。

「日本一の子育て村構想」では、子供医療費の無料(中学校卒業まで)・保育料第2子目以降完全無料(第1子目も国基準の6割)・保育所完全給食(無料)などからはじまって、子供を育てやすい環境づくりに取り組んでいます。

空家改修補助事業、U・Iターン者専用住宅の建設など住むところの確保に努めるなどして、移住者を受け入れています。町内には大きな病院もあり、とにかく、住みよい町づくりを目指して取り組んでいます。



研修状況



邑南町役場前にて



あの一般質問は今・・・

平成25年3月定例会

質問

村道谷相く岩瀬線
改修は

答弁

境沢の水路は、農村災
害対策整備事業で整備
する計画もある。

平成26年3月定例会

質問

横浜市からの補助金
は（浄化槽事業）

答弁

平成26年度浄化槽事業
終了後、30基程度残る
ので事業延長を協議し
ます。

その結果 **今は**



浄化槽工事

平成26年度浄化槽事業終了後、4年間の延長を横浜市と協議中です。残りは50基前後の予定です。



工事現場

農村災害対策整備事業で、工事がはじまりました。

議会の考え

4年の延長で、残った基数を完全に終わらせたいです。

村民住宅、医師住宅などがある場所なので防災対策が重要です。早期の完成を望むところです。

祇園祭りで村舞を 続けています

紹
しょうかい
介

川原畑神楽保存会

会長 水越 栄治さん

神楽の起源は、天照皇大神の誕生より始められ、時を経て江戸時代（1603）に移り、庶民の安定した生活の中で日本全国各地に神楽を始め様々な芸能文化が地域に根付き、日々平安と繁栄に寄与されて来たと思われています。

神楽の使命は神の使いであり、悪魔を祓い浄め、五穀豊穡・子孫繁栄など庶民の願いを神に告げる事ですが、川原畑地区の神楽の由来は、先人達によると江戸時代の中期～後期前後の頃と言われています。

熊野八幡神社の祭礼（祇園祭り）では、祭主神主の祝詞で始まり、神楽の舞が「新拍子」「矢車」の順で奉納された後、神社舞台殿において、演芸、カラオケ大会、抽選会等

が行われ、境内では若連を中心に露店が開かれ祭りを盛り上げています。

翌日から2日間に渡り1軒毎に次々と72戸を舞納めする「村舞」が毎年休む事なく続けられています。また、当保存会では、昭和55年伊勢神宮、平成12年には熊野本宮大社で奉納舞を行う等の活動を行ってきました。

こうした努力が評価され、平成14年3月8日道志村指定無形文化財となり、保存会及び若連の奮起を促して戴き保存と継承に尚一層努力しています。

道志村及び道志村教育委員会に対し日頃の御支援に深く感謝申し上げます。



がんばる人紹介

子供たちの成長を願って

昨年4月、“スクールガード・リーダー（地域学校安全指導員）”を道志村教育委員会からの依頼で、大栗の金子光一郎さんから引き継ぎました。道志村に移住して7年、『村のために何かできることはないか』と模索していたところ、ちょうどお話があり、二つ返事で引き受けさせていただきました。

“スクールガード・リーダー”の活動は、小学校と連絡を密にして、安全対策環境の確認及び助言をはじめ、スクールバスの運用という地域性も考慮の上、月に2回くらい、① 登下校時の国道を中心としたパトロール（通学路）② 授業時間中のパトロール（学校外周）③ 学校行事での保護者への連絡や警備（校内）などを行っています。活動する時は、防犯腕章やベストなどを身に着け、目立った服装をしています。“巡回している姿”を見せることにより、いわゆる不審者の行動を抑止するとともにドライバーの方などに注意を促し、



子供たちが犯罪や交通事故に巻き込まれないよう、防犯、安全の確保に努めています。子供たちと接触する機会が多くなり、大きな声で挨拶を交わすたびに『元気』をもらい、リタイアした私自身が若返った気分になります。子供は、私達の宝です。これからも、子供たちが事件や事故に遭遇せず、安心して学校で勉強や運動に励み、大きく成長していくよう微力ながら応援していきたいと思っています。



スクールガードリーダー
武居 信喜さん

写真募集中（議会だよりに掲載させていただきます。）

広報常任委員会
委員長 山口 力
副委員長 杉本 秀明
委員 出羽 和平
委員 水越 茂広

12月定例会は16日から19日までの会期で行われた。議会だより25号を元旦に読者に届けようと決めました。
（これは大変だ）
暦をみると御用納めが26日です。議会閉会后から始めたのでは間に合わないのので、議会中も空いた時間に記事を書き、写真を整理しました。
こんな短い時間で発行することができたのは広報委員と事務局が一致協力し、目標に向かつて一丸となれたことです。ご苦労様でした。
謹賀新年 乾杯！
（出羽和平）

編集後記